

日本気管食道科学会より

『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における
上気道狭窄の全国調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

COVID-19は、喉頭や気管の強い炎症を生じ、上気道狭窄を起こす危険性や、治療の後遺症による喉頭・気管狭窄の急増が指摘されており、上気道での病態解明が急務となっています。本研究は、COVID-19による人工呼吸管理後に喉頭・気管狭窄発症症例と、急性喉頭炎により上気道狭窄を生じ入院加療を行った症例を後方視的に集積し、上気道狭窄の危険因子や臨床的特徴の解析を岡豊なうことで、適切な気道管理について提言することを目的にしています。

➤ 研究（調査）の方法

日本気管食道科学会専門研修施設を対象に、以下の症例の診療録を用いて、匿名化された患者情報を集積し、後方視的な解析を行います。

- ①COVID-19により人工呼吸管理を行った症例と喉頭・気管狭窄を呈した症例
- ②急性喉頭蓋炎・喉頭浮腫・急性声門下喉頭炎にり入院を要した喉頭・気管狭窄の症例

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定研修施設

➤ 調査期間

理事会承認日から3年間

➤ 調査の対象となる患者さんへ

本研究はカルテ情報を用いた研究ですので、患者さん本人からの新たなデータ収集はおこないません。そのため、患者さんへの新たな負担や不利益になるような状況は生じません。患者さんの個人情報に関する調査結果を公表することは一切ありません。

➤ この調査への協力は任意です。

本研究にご自身のカルテデータを用いられることを希望されない場合は主治医にその旨をお伝えください。調査への協力に同意されなくても、患者さんに不利益になることは一切ありません。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：木村百合香（施設名）東京都立荏原病院耳鼻咽喉科

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp